

令和5年12月27日（水曜日）

高校生と姫路市議会との座談会（文教・子育て②）

議会会議室

出席議員

石見和之、西本眞造、蔭山敏明、宮本吉秀、
杉本博昭、小田響子

出席高校生

琴丘高等学校 4人、飾磨高等学校 4人
姫路高等学校 4人

開会 13時55分

委員長挨拶 13時55分

出席者紹介 13時56分

意見交換 13時58分

○ 個別テーマ

・高等学校のあり方

「高校での学びから将来設計ができますか？」

（委員長）

まずは、市立3校の統合や新設校についてどのように捉えているのか。また、周りの友人や家族はどのような感想を持っているのかについて聞いてみたい。

（高校生）

3校の専門分野がそれぞれ違うので、新設校にどのような特色を持たせるのか疑問である。どのようにすれば新設校の入学希望者が増えるのかについても話し合いたい。

友人は、部活に特化した学校になれば良いと話していた。

私の父は飾磨高校出身で、母校がなくなるのは少し悲しいが、次の学校がどのような学校になるのか楽しみだという気持ちもあると話していた。

（高校生）

令和8年度に一旦姫路高校の校地で新設校を開校すると聞いているが、その時から1学年8～10クラス程度募集するのか確認したい。

（高校生）

私は、母校があと数年でなくなってしまうのがすごく悲しい。

つい先日、本校で110周年記念の式典があり、元プロサッカー選手の播戸竜二さんに来ていただき、いろいろな話を聞かせていただいた。そのようなときに生徒のみんなからは人口減少など仕方ないと思うが、

やはり母校がなくなるのは惜しいという思いが感じられた。

（高校生）

市立3校統合について、3点質問したい。

まず、現在の各学校の定員が1学年240人、3校で720人であるが、1校に統合されると400人になる。320人減少するが、第4学区内における受験者数の何パーセントぐらいに当たるのか教えてほしい。

2点目は、今回の統合の背景には、生徒数減少の影響があるとはいえ、3校をいきなり1校にせず、まずは2校にして、その後1校にしていくような緩やかな統合の仕方があったと思うが、なぜいきなり1校にするのか理由を教えてほしい。

3点目は、令和4年度の姫路市の経常収支比率について教えてほしい。

（高校生）

市立3校それぞれの特色あるコースを新設校に全て設けるのか、一部抜粋して設けるのか教えてほしい。

（高校生）

市立3校統合の前に県立3校が統合されるようだが、市南部の学校が減った後の受け皿をどのように考えているのか。統合されると、生徒が1か所に集中して交通の便に影響が出ると思われるが、どのように考えているのか聞きたい。

（高校生）

質問が重なるが、3校それぞれのコースがどうなっていくのか知りたい。

（高校生）

私は、祭りが盛んな地域に住んでいて、参加もしている。時期的にどうしても中間テストと重なるので、新設校では、伝統文化である祭りに参加しやすくしてほしい。

（高校生）

私の周りでは、統合前の市立3校に入学すると自分が3年生になった時に後輩がいなくなるなど不安であるという意見があった。

私は、校則がどのように引き継がれていくのか知りたい。

（高校生）

3校が1校に統合されることによって、教育委員会の管轄が新設校のみになるため、授業の一環として議会

を見学するなど、それを生かしてほしい。

(高校生)

3校それぞれの良さがあると思うので、新設校に受け継いでほしい。

(高校生)

新設校ができることで母校がなくなるのは悲しいが、新入生は校舎や校則が新しくなって時代にあった学校ができるので良いと思う。

(委員長)

高校生の皆さんからさまざまな意見や質問があったが、議員側からの意見を聞いてみることにしたい。

(議員)

新設校はどのような学校になるのかという不安があるようだが、特色あるコースや部活動などについては、教育委員会が検討していると思う。現場の先生方や生徒会の皆さんが一番現状を把握しているのだから、希望や意見を出し合って、それを教育委員会が吸い上げて新しい学校をつくりあげていけば良いと思う。

勉強の内容については、先生方が実績を基に、将来新しい分野にチャレンジしていくための方策として有効に機能した分野について話し合っていけば良いと思う。

令和4年度の経常収支比率は、87.4パーセントで悪くないと思う。

学校の適正規模は8~10学級なので、施設に余裕があるかは別として、初年度から目指していくと思う。

母校がなくなるのは、誰にとっても寂しいことだと思う。伝統を受け継ぎ、新しい学校に生まれ変わるという思いで取り組んでほしい。

3校がいきなり1校になることについては、本当ならもっと早く、生徒数の減少に応じて少しずつ減らせればよかったが、減らすとなるといろいろ抵抗があり、エイヤと減らすことになった。平成24年からでも800人ぐらい児童数が減少していて、今後も減少していく見通しであるため、長期のスパンで考えてこういう形になったと思う。1校になるメリットを生かして最先端の学校をつくってほしいと思う。

(議員)

先ほど話が出たが、琴丘高校110周年の記念式典の準備に当たったOBの人から聞いた話では、準備のた

めに集まった際の話は学校の統合再編であつたらしい。やはりみんな自分のことのように後輩のことを考えているのだと思う。

各学校の校歌、各大会での優勝旗やカップなどはどうなるのかとか、メモリアルルームのようなものがあればよい、などとOBの皆さんの思いもある。現役の高校生やOBの意見をしっかりと受け止めて反映していきたいと思う。

(議員)

私は市立3校を統合することに反対の立場なので、他の議員と意見は異なる。

学校がなくなることに對して不安や心配があるのはよく分かる。まだ決まっていないこともたくさんあると思うので、その不安や心配事を教育委員会や市に訴えていけば良いと思う。

(議員)

私は、新設校の校則は教育委員会や先生ではなく、ゼロから学生の皆さんが話し合っつてつくっていけば良いと思う。

(議員)

私は、モデルとなる校則をたたき台にして生徒会を中心に話し合っつて少しずつ変えていき、最終的には先生と一緒につくり上げていけば良いと思う。

(議員)

私は姫路別所高等学校の1回生なので、新設校に入学した経験がある。当時は、新校舎はなく使用していない小学校の木造校舎で清掃から始めた。プール、学食、体育館、校歌などはなかった。2年生になり新校舎に引っ越し、3年生のときに体育館ができ、卒業式のみ使用した思い出がある。そういう状況の中で3年間を過ごしたが、良いこともたくさんあった。その中で1番良かったと思うのは、生徒が180人しかいなかったため、先生がとても親身に接してくれたことである。先生方には感謝しているし、いまだに付き合いがある。

様々な高校生活があると思うし、後輩がいなくなる心配も分かるが、それも貴重な経験になると思う。新設校には、それぞれの学校の良いところを持ち寄り、思いを込めてみんなでつくってほしい。

少子高齢化が進んでいるため、学校再編から逃れることはできない状況であることを理解してほしい。

(委員長)

議員からの発言は高校生の皆さんの質問を全体的に網羅していたように思うが、交通については、地元からも意見が出ているようなので、よく加味して考えなくてはいけないと思う。

議員にもっと詳しく聞いてみたい内容があれば教えてほしい。

(高校生)

市立、県立とも3校が統合されると、新設校の偏差値はどうなるのか。同じ時期に統合されると倍率が高くなると思うがどうか。市立3校が統合した後の跡地はどうなるのか、について教えてほしい。

(議員)

逆に質問するが、跡地をどうすれば良いと思うのか。

(高校生)

宿泊施設や娯楽施設にしてはどうかと思う。

(議員)

倍率については、やはり一時的に上がるのは仕方ないと思う。

偏差値については、希望者が多くなるような学校になれば高くなると思う。

跡地については、校舎を残して有効活用するか、更地にして別の目的で使用するかは、これから検討すると思う。個人的な意見になるが、飾磨高校跡地には、マンションや宅地にして新設校の財源にする。琴丘高校跡地はスポーツ施設とする。姫路高校にはパルナソスホールがあるため、文化的施設として利用するなどいろいろな考え方があると思う。

(議員)

現在、中央卸売市場跡地は候補地であって、決定したわけではない。計画段階であり、話を進めているというのが現状である。

(高校生)

当初は、新設校を姫路高校でスタートさせるということで、新設校を見据えて生徒会運営をするように言われているが、先ほどの話によるとまだ何も決まっていないとのことなので、気にしなくて良いのか。

先程、跡地についての意見も出ていたが、私は学校を統合しても、少子化問題の解決にはならないと思う。将来的に少子化対策を推進して子どもが増えた場合、また新しい高校が必要になってくるので、とりあえず1つは残しておいた方が良いのではないかとと思う。

(議員)

荒川校区は人口が増えて新しい小学校を建設する計画が進んでいる。しかし、統計上、ここ10~20年のスパンで見ると子どもの数は減っていくので、統廃合はやむを得ないと思う。

(議員)

校則については、同じ校地に暫定的に2つの学校が入るが、違う学校であるため、違って良いと思う。

(高校生)

議員の皆さんの意見の中で、新しい校則をゼロからつくるといふ話があってすごい楽しみである。高校生の感想では、寂しいや不安といったようなマイナスの意見が多いと感じたが、不安に思っている中高生と話し合いはしないのか。

(議員)

議員は、市民の皆さんの意見を市政に反映させることが仕事なので、議員や学校を通じて上げていけば良いと思う。

(議員)

ここで大きな声で言うておけば、皆聞いている。

(議員)

新しい学校をつくっていくのは、学校の先生や皆さんののだから、意見を出し合うことは大切であると思う。その結果、意見が集約され、最小公倍数になるのか、最大公約数になるのか分からないが、私たちはいろいろな角度から精査する。

(委員長)

もっと発信してほしい、伝えてほしいと思うことはあるのか。

(高校生)

新設校について、自分たちでつくっていくという考え方もあると知ったので、そういうことをもっと伝えてほしい。

(議員)

どこかの時点でもう少し詳しい内容が発表されると思うので、それに対して意見を出していけば良いと思う。

(高校生)

私は、姫路市ジュニアオーケストラに所属しており、パルナソスホールやアクリエひめじをよく利用している。施設も整っており、姫路市は「音楽のまち」を

うたっているの、新設校に音楽類型のコースを新設してほしい。

(議員)

面白いと思う。

(高校生)

先ほど、祭りに関する意見が出たが、私も中間テストの時期との兼ね合いを検討してほしいと思う。祭りは地域を盛り上げるうえで大事な催しであり、私も参加して伝統を継承していきたいからである。

(議員)

祭りは、姫路市にとって大切な文化なので、何らかの配慮はされると思う。

(議員)

祭りの開催時期は10月初旬から下旬まで地域によって異なるため、配慮の仕方も難しいと思うし、伝統文化は祭りだけではないため、みんなで話し合う必要があると思う。

(高校生)

令和8年、9年で2学年、1学年と生徒数が減少する中での部活動について知りたい。

練習など難しいとは思いますが、吹奏楽部などは、人数が少ないと厳しいため、新設校と3校が合同で活動できれば良いと思う。

(議員)

良い方法だと思う。最後は一緒になるのだから、今からでも交流してはどうかと思う。

(議員)

部活動の種類にもよるが、交流できるタイミングを先生とも相談して準備していけば良いと思う。

(議員)

移行期間については、できるだけ希望に沿うような形で教育委員会でも検討されていると思う。

(委員長)

これまでの意見を踏まえると、新設校に設置されるコースについての意見が多かったように感じる。専門的なことを学び、進学や就職につなげていくために大切だと感じていると思うが、現在、高校生活の学びの中で将来設計ができているのか。現状感じていることを教えてほしい。

(高校生)

私は、美容師になりたいと思っている。高校で美容

学校の先生が講座を開いてくれたことはあるが、美容学校を卒業したあと、就職先や自分の店を持つなど将来に対するビジョンは見えにくい。

(高校生)

私は健康福祉コースで学んでいるが、福祉を学べる高校は少ない。高齢化が進む中で福祉に関する知識は必要だと思うので、このコースは残してほしい。

また、成人年齢が18歳に引き下げられたが、自覚できていない。自覚を持つために、引き下げられた理由なども含めてもっと知る機会を増やしてほしい。

(高校生)

私は音楽家を目指しているが、専門的すぎて、高校では情報が少ないので、自力で調べなくてはならない。少しいいので資料がほしい。

(高校生)

成人年齢が引き下げられて責任が伴うが、税金や確定申告など知っておくべきお金に関する授業が少なすぎると思う。金融関係の人に出前講座などをしてもらい、知識を深めたり興味を持ったりできるようなカリキュラムをつくってほしい。

(高校生)

姫路高校では、3年生の選択教科でいろいろと学べる機会や探求活動があるので、将来に対して考えることが増えると思う。

(委員長)

高校生の皆さんから様々な意見が出たが、これを踏まえて議員側からの意見を聞いてみたい。時代や価値観は変わっているが、自身の学生時代の学びが将来につながったかなど聞かせてほしい。

(議員)

若い頃から目的を持って努力できる人は、最短距離で近づける。目的を達成するためには何をすれば良いか、逆算する力を学生時代に養うのも大切である。

専門的な知識は高校では少し難しいと思うので、自分で調べる力を養ってほしい。

お金の話が出たが、これは非常に大切だと思う。社会生活に支障をきたすことがないように、高校の授業の中で学んでいくスキルとして取り組むべきであると思う。

(議員)

私は、高校時代に就職するか進学するか悩んだが、

自分の可能性を決定する猶予がほしいと思い大学に進学し、社会生活の一手手前のところを学んだ。

目的ができたときに一番近い状態にあるために、今、精いっぱい努力することが大切だと思う。播戸竜二さんのように常に目標を持ち、それに向かって一直線に進んでいく姿は尊敬できる。

(議員)

私は、高校時代に父親が亡くなり、中退して就職を考えたが、当時の担任の先生の計らいで卒業することができた。卒業後は、周りに反対されながらも山陽特殊製鋼に就職し、労働組合の役員を経て市議会議員に立候補する運びになり現在に至る。

人生は、目標を持って努力し続けることが大事だが、私自身は、目の前のことに精いっぱい生きてきた。目標どおりにいかないし、失敗してもマイナスではない。その失敗のおかげで次につながることもある。将来のことは分からないので、健康で今を精いっぱい生きることが一番大切だと思う。

(議員)

私は、高校進学の説明会で工業高校に興味を持ったが、親から選択の幅が狭まるという理由で普通科を勧められ進学した。やりたいことを1つ決めて突き進むことも大事だが、いろいろなところに目を向け広い視点で考えるのも大事なと思う。失敗した経験も財産になっていくので、悩みながら自分の進路を決めてほしい。

(議員)

皆さんはこれから誰も経験したことがない人口減少社会を生きていかななくてはならない。学校の統廃合どころか、労働力が低下し、納税者が減少する社会で生きていくために、しっかり将来を見据えてほしい。

(委員長)

新設校がどんな学校になってほしいか、現在在学中の学校の良い点、不満に思っている点などについて教えてほしい。

(高校生)

今の高校生活に2つの不満がある。

1点目は、市立高校で導入されているクロームブックはソフトの互換性低く、制限が多くて使いにくいので、他のものに変えてほしい。

2点目は、姫路高校では金融の授業がないわけでは

ないが、レベルが低いので、新しい学校ではもっと踏み込んだ授業をしてほしい。

(高校生)

クロームブックと教科書の併用で荷物が多いので、電子教科書に変えてほしい。

W i - F i 環境が悪く、240人が使用すると不具合が生じることがあるので、改善してほしい。

先ほど校則の話もあったが、社会で通用するようなマナーの授業も取り入れてほしい。

(高校生)

社会に出たら、W i n d o w s が主流だと思うので、新しい学校ではW i n d o w s に変えてほしい。

(委員長)

他に意見がなければ、高校生の皆さんから先日開催された「全国市立高等学校生徒会サミット2023」についての説明をお願いしたい。

【飾磨高校が資料に基づき説明・報告】

(委員長)

皆さんからいただいた新設校についての思いは、担当課へしっかりと伝えるとともに、議会でも議論を尽くし進めていきたいと思う。

意見交換終了

15時37分

委員長挨拶

15時38分

閉会

15時39分